

2024年8月16日  
企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

## **企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催**

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2024年8月16日に、コネチカット州ノーウォークで会合を開催しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが定期的に行っているもので、今回で34回目となりました。

今回の会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である環境クレジットの会計処理及び適用後レビュー（PIR）プロセスの改善等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は、2025年の前半に東京で開催する予定です。

川西 安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「過年度から引き続き、ノーウォークでの対面会合を主催してくださった FASB に感謝申し上げます。この会合は、新たに FASB の副議長に任命されたヒラリー・サロ氏、そして新たに FASB のテクニカル・ディレクターに任命されたジャクソン・デイ氏との初めての会合でした。今回の会合では、市場環境の急速な変化への対応や適用後レビュー（PIR）へのアプローチなど、幅広い論点について意見交換ができました。このような FASB との二者間会合は、様々な論点に関する意見交換を通じて、非常に実り多いものとなっています。今後もこの関係を継続し、さらに発展させていくことを期待します。」

リチャード・ジョーンズ FASB 議長は次のように述べています。

「FASB は、ASBJ をノーウォークにお招きし、年 2 回開催している会議の直近の会合を開催することができたことを喜ばしく思います。議論の結果、両基準設定主体がそれぞれのアジェンダに上がっているプロジェクト、適用後レビュー、及び利害関係者へのアウトリーチを通じて、相互に関心のあるトピックにどのように取り組んできたかについて、貴重な洞察を得ることができました。両法域及び世界中の投資家にとって有益となる最高品質の基準を両基準設定主体が開発するために、FASB とこのような議論を続けている川西委員長及び ASBJ のメンバーに感謝いたします。」

### **企業会計基準委員会（ASBJ）について**

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb-j.jp/jp/>) をご参照ください。

### **米国財務会計基準審議会（FASB）について**

FASB は、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いています。FASB は、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されています。FASB の基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されています。FASB は、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表しています。米国財務会計財団（FAF）は、FASB の支援及び監督を行っています。詳細な情報は、ホームページ ([www.fasb.org/](http://www.fasb.org/)) をご参照ください。